

平成25年度文部科学省委託事業
第3回加盟団体連絡会議 兼ドーピング防止研修会

2014年禁止表国際基準の 改訂について

加盟団体連絡会議運営委員会
委員長 山澤 文裕

2014年禁止表国際基準

2014年1月1日発効

世界ドーピング防止規程の4.2.2条に従い、
すべての禁止物質は「特定物質」として扱われる。
但し、S1、S2、S4.4、S4.5、S6.a. および
禁止方法M1、M2、M3は除く。

常に禁止される物質と方法 (競技会(時)及び競技会外)

禁止物質

- S0. 無承認物質
- S1. 蛋白同化薬
- S2. ペプチドホルモン、
成長因子および関連物質
- S3. ベータ2作用薬
- S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬
- S5. 利尿薬および他の隠蔽薬

禁止方法

- M1. 血液および血液成分の操作
- M2. 化学的および物理的操作
- M3. 遺伝子ドーピング

競技会（時）に禁止される物質と方法

S0 - S5 および M1 - M3に加えて競技会（時）において禁止される。

禁止物質

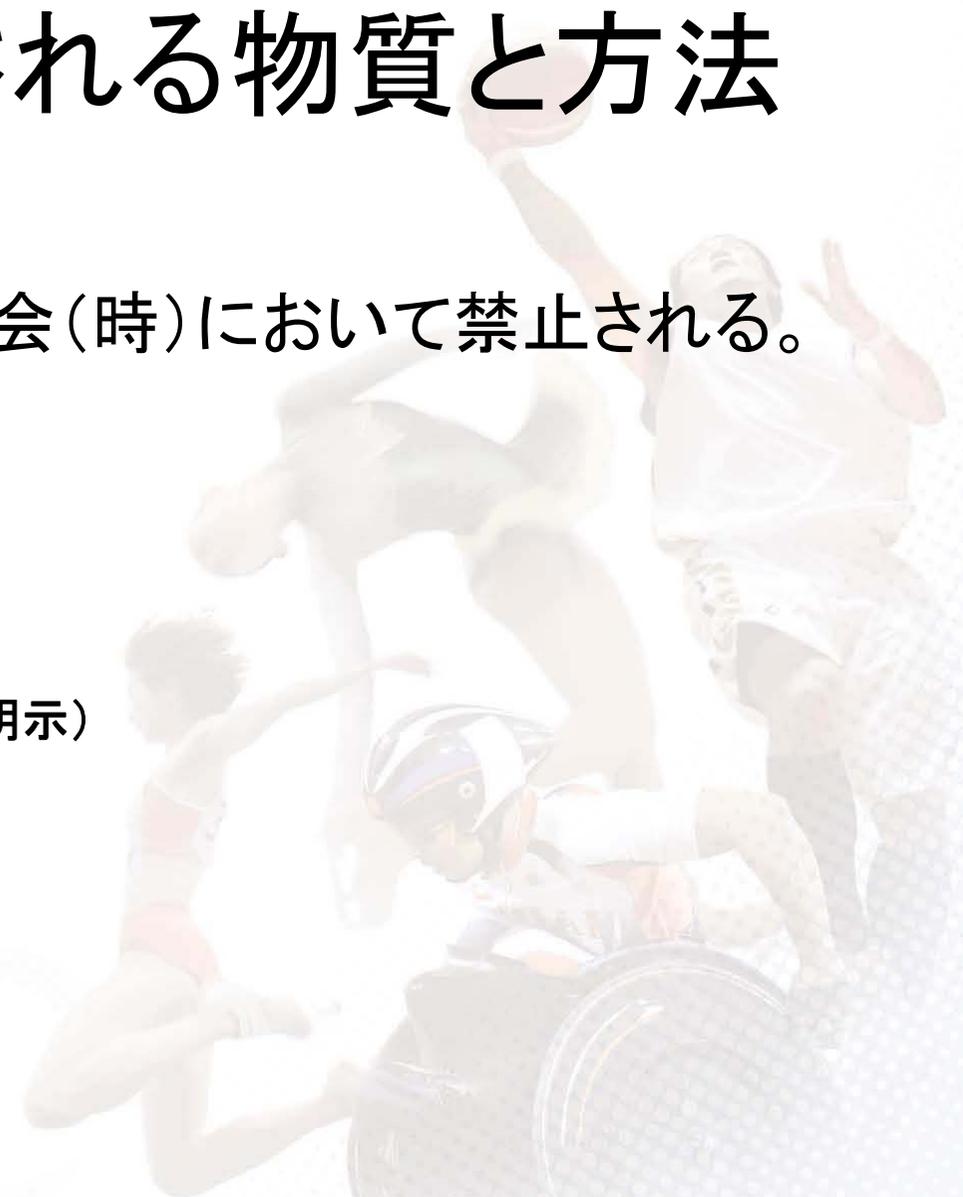
S6. 興奮薬

- a. 非特定物質の興奮薬（全物質を明示）
- b. 特定物質の興奮薬（例示）

S7. 麻薬

S8. カンナビノイド

S9. 糖質コルチコイド



特定競技において禁止される物質

P1. アルコール

競技会(時)に限って禁止される。
ドーピング違反が成立する閾値は
血中アルコール濃度 0.10 g/L と同等の濃度。

P2. ベータ遮断薬

競技会(時)に限って禁止される。
アーチェリー、射撃は競技会外においても禁止。

2014年禁止表 主要な変更の要約

S2. ペプチドホルモン、成長因子および関連物質

放出因子が禁止される点を、S2.2、S2.3およびS2.4で明確にした。

S5. 利尿薬および他の隠蔽薬

バソプレシンV2受容体拮抗薬（バプタン類）を追加。
水利尿薬 サムスカ（トルバプタン）

M1. 血液および血液成分の操作

科学的正確性のために、allogenic（他者）という用語を導入。

喘息治療薬／気管支拡張薬

吸入ステロイド単体は禁止されない。常時使用可能

ベクロメタゾン(BDP)、フルチカゾン(FP)、ブデソニド(BUD)、シクレソニド(CIC)、モメタゾン(MF)

長時間作用型吸入 β 2作用薬LABA との配合薬

アドエア	FP + サルメテロール(SM)	常時使用可能
シムビコート	BUD + ホルモテロール(FM)	常時使用可能
フルティフォーム	FP + ホルモテロール(FM)	常時使用可能

LABAホルモテロール吸入製剤(オーキシス)

使用可能

LABAインダカテロール吸入製剤(オンブレス)

使用不可

ウルティブロ (グリコピロニウム+インダカテロール)

使用不可

レルベア (FP+ビランテロール)

使用不可

テオフィリン系、抗コリン作用薬

使用可能

利尿薬についての注意

ARBと利尿薬の合剤が複数市販されている。
プレミネント、ミコンビ処方によるADRVあり。
医師による「うっかり処方」の注意が必要である。

ARBと利尿薬の配合薬に注意
プレミネント、コディオ、エカード、
ミコンビ、イルトラ

2014年監視プログラム

主要な変更の要約と注釈

乱用の潜在的な傾向を検出するため、
以下の物質が追加された

2. 麻薬：競技会（時）：ミトラギニン
（インドールアルカロイド）